

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市長賞

安東中学校 2年 望月 亮真

「旅」

父さんと2人で京都へ行った。  
5年前は家族4人で旅行した。  
4人での旅行は最後かなと言っていた。  
僕にはよくわからなかった。  
兄さんが大学生になり、  
忘れっぽくなったばあちゃんが  
泊まりに来るようになった。  
3人での旅行も難しくなっていた。  
中2の夏、父さんが京都へ行こうと休みを取った。  
男二人旅。不安定な天気も嘘のように晴れた。  
並んで歩くのは少し恥ずかしく僕は少し前を歩いた。  
清水寺・本能寺・金閣寺・銀閣寺…  
ふと父さんと二人旅は最後かな。と思った。  
足は痛かった。でもとても楽しかった。  
父さん、今度は僕が誘うよ。  
また、家族で行こう。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市議会議長賞

竜南小学校 4年 松田 郁宏

「すごい」

お母さんは百目鬼かもしれない

後ろを向いていても勉強をしていないことがばれちゃう

そうじをしていても音読をミスっていることがばれちゃう

車を運転していてもつめをかんでいることがばれちゃう

ごはんを作っているけどプリントをかくしていることがばれちゃう

そして、時々角が生える

だから百目鬼かもしれない

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 1. 特別賞受賞作品

◆静岡市教育委員会教育長賞

大里西小学校 6年 村井 育

お母さんのハグが好き。  
元気がない時。  
つかれている時。  
かなしい時。  
くやしい時。  
うれしい時。  
お母さんとギューとしたくなる。  
安心できて、ホッとする。  
うれしくて、笑顔になる。  
ぼくの中のだきまくら。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市校長会会長賞

清水岡小学校 6年 風間 菜名

「大好きなばあば」

いつも会いに行くと、  
両手を広げて、  
「ななー！」  
と、だきしめてくれるばあば。  
とても大きな、ばあばの胸。  
とてもあたたかい、ばあばの胸。

いつの間にか、  
私のほうがせが高くなった。  
私のほうが大きくなっても、  
ばあばの胸は大きくてあたたかい。

ずっとその胸にだかれないな。  
長生きしてね、ばあば。  
また会いに行くね。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

1. 特別賞受賞作品

◆静岡市PTA連絡協議会会長賞

安倍川中学校 2年 山木 瑞保

「ひまわり」

お母さんの笑顔は  
ひまわりのように  
明るい笑顔

でもときどき  
トマトみたいにまっかになって  
おこるときもある

今日もお母さんのひまわりをみたくて  
「ありがとう」っていった  
僕の顔にも自然とひまわりが咲いた

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 1. 特別賞受賞作品

◆静岡市PTA連絡協議会母親委員長賞

新通小学校 4年 西川 仁埜

### 「ぼくの気持ち」

お母さん、ぼくが一人でいると、  
「ねえ、どうしたの？」って聞いてくる。  
ぼくだって考えたいことぐらいあるさっ！  
学校から帰ってくると、  
「今日の給食、何が一番おいしかった？」って聞いてくる。  
特に、これとってないのに。いつもとっしょ。  
宿題の問題で、なやんでいると、  
「どうした？できる？教えようか？」って聞いてくる。  
自分で、できるよ！  
お母さんは、いつもぼくのことを心配してくれる。  
ぼくのちょっとした変化に気づいて声をかけてくれる。  
「ありがとう」って気持ちはあるんだけど、なかなか伝えられない。  
いつか伝えたいな「ありがとう」って気持ち。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

賤機中小学校 4年 望月 悠世

「だいすきお母さん」

ぼくがすりむいた時ぼくよりも  
いたい顔したね。

ぼくがうれしかった時ぼくよりも  
よろこんでいたね。

ぼくもお母さんが笑うとうれしいよ。

お母さんとずっといっしょに笑って  
いたいな。

お母さん大好きだよ。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

富士見小学校 4年 田中 琴羽

「まほうの声」

「おきなさい」  
ママの声はめざまし時計  
ママの声で目がさめる  
「いってらっしゃい」  
ママの声はレモンスカッシュ  
ママの声で元気が出る  
「ありがとう」  
ママの声はチョコレート  
ママの声で心がはずむ  
「こらっ」  
ママの声はとうがらし  
ママの声でけんかが終わる  
「おやすみ」  
ママの声はオルゴール  
ママの声でゆったりする

まほうのようなママの声  
ママ大好きだよ



平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

中島小学校 4年 増井 彩心

「わたしのおじいちゃん」

わたしのおじいちゃんは  
にん知しょう

時々、わたしの顔も  
わすれてしまう

でも、転ばないように  
手をつないであげると

小さな声で「ありがとな」  
と言ってくれる

色んなことをわすれて  
しまうけど、「ありがとう」  
はわすれない

すごいな！  
わたしのおじいちゃん

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

清水三保第一小学校 4年 福元 智貴

ぼくは、いつもお父さんと頭を  
ごつつんこするんだ。  
その時のあい言葉は「パワー」だ。  
朝、学校に行く時、お父さんの所に  
かけより「パワー」。  
習い事の大会の時も「パワー」  
と言ってごつつんこ。  
夜ねる時も「パワー」をもらって  
ふとんに入る。そうしないとイヤな  
ゆめを見るからだ。  
お父さんがつかれている時は、  
ぼくが「パワー」をしてあげるんだ。  
一言「パワー」とごつつんこをする  
だけで元気になっておちつくんだ。  
ぼくは、これをずっとやるつもり。  
だって、ぼくが「パワー」をあげれば、  
きっとお父さんはいつまでも  
元気でいてくれるから。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

安東小学校 6年 青木 陽香

### 「温か手つなぎ」

ずっとしてきた  
お母さんとの手つなぎ  
手と手をつなげると  
全身が温かくなる  
幸せな時  
でもね  
来年は中学生  
はずかしいなと不安になる  
考えてみた  
幸せはつくりだすもの  
もうつなげなくていいの？  
やっぱりいやだ  
これからもずっと温かく  
なりたいな、お母さんの手で  
いくつになっても手つなぎは  
終わらない  
明日もしようね、お母さん

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

竜南小学校 6年 木村 実子

「いつも、いつも」

ねむるとき、いつも、いつも  
たたいてくれた、私のせなか

かなしいとき、いつも、いつも  
なでてくれた、私のあたま

あるくとき、いつも、いつも  
にぎってくれた、私ので

ぜんぶ、ぜんぶ、おかあさんので、  
とてもあたたかいおかあさんので、  
これからも、ずっと、  
ずっと、よろしくね

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

清水興津小学校 6年 山崎 史人

### 「兄へおくる」

最近の相談相手。  
メールごしにいる兄へおくる。  
兄はいつも忙しいけど教えてくれた。  
やさしく教えてくれた。  
他のだれも持っていない言葉。  
「がんばって。」  
「よくやった。」  
不思議な言葉。まほうの言葉。  
勇気が出る。やるぞと思える。  
自分にも言えるかな？  
こんどは自ら「ありがとう。」  
兄へとどける「ありがとう。」  
考えていたら、ほほえんでしまう。  
そういえば次はいつ帰って  
来るのだろう。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

清水駒越小学校 6年 大石 乃愛

「お母さんはすごい」

大人はずるい勉強しなくていい  
前はそう思った  
ある日お母さんが体調をくずした  
だから私はかわりにやった

やってみたら思ったのちがった

そうじきがけは力が必要  
とてもつかれた

ご飯づくりはやけどをした  
火のそばであつかった

私は考えた これを毎日やる  
お母さんはすごい  
やっぱりすごい  
これからはもっと手伝おう

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

清水第四中学校 2年 長谷川 歩貴

じいちゃんが入院しました。  
その二十日くらい後、亡くなりました。  
じいちゃんがいなくなってから、  
いろいろ変わりました。  
まず、主を無くした布団と時計。  
それから、畑はスイカができはじめ  
ました。  
あと自分、背が少しのびました。  
他にもいろいろ変わったのですが、  
二つ、変わらないことがありまして。  
まず、じいちゃんは僕のじいちゃんです。  
そして、今も僕は、じいちゃんの  
ことが大好きです。  
どうか、お元気で。  
またどこかで。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

城内中学校 2年 柳川 和希

### 「父の背丈」

生まれて13年  
4日くらい前に  
父の背丈をこえた

ずっと大きいなあと思って  
13年一緒に過ごしてたけれど  
いつのまにやら  
目線が一緒になっていた

うれしかったけど  
少し悲しくなった  
13年ずっと大きかった父を  
これから見下ろすことに  
なるのかと思うと  
さみしくなった  
そして  
僕は父が大好きだということを  
改めて知った



平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

清水第二中学校 2年 三好 彩心

新しい靴を履いて友達と出かけた日  
「足が痛くなったら電話しろよ。  
迎えに行くから。」  
と、普段無口な父が言った  
「うん」  
と一言返し、私は出かけた  
夕方帰宅すると、いつもはパジャマで  
いる父がすぐ出かけられる  
服装で待っていた  
パパ ありがとう  
私は心の中で思った

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

## 2. 優秀賞受賞作品

清水第七中学校 2年 疋田 七菜実

「甘いたまごやき」

真冬の駅伝大会  
頑張ったごほうびは母のお弁当  
でもときどき  
大好きなたまごやきが  
びっくりするほど甘い  
寝ぼけて作るから  
分量間違えちゃうんだね  
だけど知ってる？  
疲労回復には糖分が1番なこと  
そっか あの甘さ  
意外とわざとだったりして。

朝早く家を出て大会へ急ぐ  
吐く息はまっしろ  
冬の朝は寒い  
でも 背中には  
母のお弁当のぬくもり  
よし行ってきます！

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

清水辻小学校 4年 北村 環

「雨の日」

わたしは雨の日が好き  
お母さんがおむかえに来るから  
でも最近来ない  
かさを持って行っているから

わたしは思う  
午後に雨になんないかなあ  
いっしょに帰りたいなあ  
お昼のごはんを聞いたり学校であった  
ことを言いたいな  
またおむかえに来ないかな  
わたしは思っている

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

長田東小学校 4年 榎守 ことみ

「お母さんは、充電器」

「おかあーさん」  
わたしは、お母さんにギュッと  
だきついた。お母さんのうでの  
中は、あたたかい。お母さんの  
むねの中でわたしは泣いた。  
くやしくて泣いた  
かなしくて泣いた  
お母さんにギュッとされると  
気持ちがおちつく。やすらぐ。心に  
元気のパワーがたまっていく。  
だから、お母さんは わたしの  
「充電器」  
いつも元気パワーをくれて  
ありがとう  
大すき

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

千代田東小学校 4年 原田 航輔

「お母さんのこと・・・」

お母さんは、感動するとすぐ泣いて  
しまう。絵本でも泣いてしまう。  
ドラマなどを見ていて、感動する  
場面になるとぼくはお母さんをみる。  
すると、100%泣いている。  
それなのに、お兄ちゃんとけんかを  
していると、オニのような顔で  
おこる。そして、仲直りしてお母さんの  
顔を見ると100%わらってる。  
泣いたりおこったりわらったり  
いそがしいお母さんだ。  
お父さんやお兄ちゃんは、お母さんの  
わらい声がうるさいと言うけれど、  
お母さんは、わらっている  
のが一番いい。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

足久保小学校 4年 徳田 颯真

「じいじとばあば」

ぼくのじいじは体が大きくてやさしい  
ばあばのためにおはかまいりに行く  
自分で育てた花を持って  
ばあばのおはかはいつもきれいな  
花がいっぱい  
ばあばはきっとうれしいと思う

じいじはつりにもよく行く  
ぼくもいっしょに行く  
じいじはつった魚を料理してくれる  
その場であげてくれたフライは  
おいしい  
ばあばもいっしょがよかったな  
つりに行こう  
温泉も行こう  
おはかのばあばに話しに行こう

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

清水飯田小学校 4年 深澤 太空斗

#### 「家族のしるし」

ぼくの頭の形は、ちょっとへん。  
頭の後ろがまっすぐになってる。  
いわゆるぜっぺき。  
だからかみ形はいつもキノコみたく  
丸くしてるんだ  
けどこんな頭の形が大すきです。  
だってお母さんと同じ形だから。  
「これって家族のしるしだよね。」  
お母さん。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

大谷小学校 6年 松下 祐芽

「コーチありがとう」

僕はサッカーを習っている  
サッカーは色々なことを教えてくれる

努力をすること  
仲間を思いやること  
親に感謝すること  
あきらめないこと

それを教えてくれたのは、コーチ  
コーチは、「君達なら出来る」と  
信じてくれる  
すると、自然と勇気が湧いてくる

六年間お世話になったコーチ  
「ありがとう」  
すごく尊敬しています



平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

葵小学校 6年 杉山 蒼果

「お母さんはなんでもお見通し」

いやなことがあった  
家に帰るとすぐお母さんが私に  
「なにかあったの？」  
って心配そうに聞いてくる  
お母さんは何でもお見通し

うれしいことがあった  
家に帰るとすぐお母さんが私に  
「なにかあったの？」  
って楽しそうに聞いてくる  
やっばお母さんは何でもお見通し

お母さんはいつも  
一緒に悲しんでくれたり  
一緒に笑ってくれる  
だから今の私がある  
お母さん  
いつもありがとう

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

賤機中小学校 6年 繁田 妃奈

「お父さん、お母さんの声」

お父さんの優しい声  
ちょっと低くて  
安心する

お母さんの優しい声  
どんなことがあっても  
聞いていると安心する

おはよう  
いってらっしゃい  
おかえり  
おやすみ

どんな言葉も優しさに包まれている

優しいこの声を聞けば、どんな  
ことだって大丈夫

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

東源台小学校 6年 山口 晴楓

「お母さんのにおい」

お母さんはいつもいいにおいがする  
シャンプーのいいかおり  
たまにおいしいごはんのおいもする  
お母さんは毎日ちがうにおいがする  
近くにいるだけでもにおいがする  
だけどぎゅっとだきしめると  
もっといいにおいがする

私が世界で一番大好きなにおい

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

横内小学校 6年 川上 りら

「お母さんってすごい！」

お母さ 毎朝同じ時間に起きる  
ご飯をつくるのが早い  
そうじ機をかけるのが早い  
洗たく物をたたむのが早い  
お皿を洗うのが早い  
自転車をこぐのが早い  
どこでも、いつでも、ねれる  
見ていないようで見ている  
聞いていないようで  
聞いている  
お母さんってすごい

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

藁科中学校 2年 瀧井 翠

お父さんは弁当の日  
「今日の弁当何点だった」  
ときいてくる  
私が低い点数を言うと  
次の弁当は  
私を癒す箱に変わっている  
私はお父さんに聞かれると  
いつも「0点」とこたえる  
するとお父さんはまたがんばる  
朝はやくから弁当箱と戦う  
いつも「0点！」と言ってるけど

いつか必ず  
「100点」と言うからね

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

東中学校 2年 米沢 純

久しぶりの家族旅行。  
急ぎ足でホームに向かう。  
もうすぐ電車がきてしまう。  
なのにお父さんが立ち止まった。  
ふと見ると、目が不自由な人が  
うまく改札へ向かえないでいた。  
お父さんが声をかけ、  
改札に誘導する。  
ほんの一瞬の小さな出来事。  
だけど、周りのだれもが  
できなかった小さな出来事。  
僕が気づいたら声をかけられる  
だろうか。  
分からない。  
それを当たり前のように  
行動に移せたお父さん。  
僕は少し誇らしくて  
お腹が温かかった。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

城山中学校 2年 中野 哲汰

親ってたいへんらしい  
子どものために多くの時間を使うらしい  
疲れていても何があっても家事を  
しなきゃいけないらしい  
子どもの未来のために投資しないと  
いけないらしい  
子どものなにげない言葉に傷つくらしい  
親って子どもの成長を一番近くで  
見れるらしい  
今自分が体験してるありがたみは  
自分がやらないと分からないらしい  
でも確かにわかること  
それはとても愛されていること

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

城内中学校 2年 紅野 友宏

「生きているって何だろう・・・」

あたたかな太陽の日を浴びて  
空に浮かぶわたがしを見た時  
ぼくは 今日も 考えた  
生きているって何だろう・・・

家族に見守られ僕が産まれた時  
温かい手で僕を慰めてくれた時  
がんばってと応援された時  
何してんの？と怒られ時

全てが生きているということ  
時には死にたい  
と思ったこともあった  
それでも家族に支えられて  
ぼくは今日も生きています  
ぼくはいつも伝えたい  
ただひたすらにこの言葉を  
ありがとう



平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

### 3. 優良賞受賞作品

大川小中学校 2年 今永 歩

「もう少し」

最後に4人で出かけたのはいつだっただろう  
ゲームをしながらドライブしたのは  
フェリーでたこ焼きを食べたのは  
床に座ってジュースで乾杯したのは  
あまり撮らなくなった家族写真  
あと何年一緒にいられるだろう  
4人ですごせるのはあと2年

最後の旅行に行こうと言う父に  
さみしいからやめてよと言ってしまおうけれど  
本当にあともう少しなんだね

いつもありがとう  
これからも、よろしくね

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

井宮小学校 4年 松田 遥兎

「出会えてよかった！」

「おはようございます！」  
先生と、あいさつを交わすと  
朝のもやもやした気分は、  
一気に、ふきとんでしまう

先生は、いつもはりきっている。  
大きな声で、よく笑う。

先生にほめてもらおうと  
ぼくは、自分が、輝くを感じる。  
先生といるだけで  
ぼくの中に、新しい力がわく。  
先生といるだけで、  
ぼくは、自分をもっと好きになる。

きっと、みんなもそうだよね。  
ぼくは、先生と  
出会えてよかった！

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

賤機南小学校 4年 阿部 健史

##### 「何でも熱心」

ぼくのお母さんは、何でも熱心。

テレビを見るのも、熱心。

ねることも、熱心。

食べることも、熱心。

化しようも、熱心。

ファッションのこだわりも、熱心。

さがし物をさがし出すのも、熱心。

車の運転も、熱心。

電話をかけるのも、熱心。

手紙を書くのも、熱心。

ゲームも、熱心。

お料理も、熱心。

仕事も、熱心。

そして、何よりも、

ぼくをしかるのは、大熱心。

ぼくも、今日から

熱心に生きよう！

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

中島小学校 4年 大長 真士

「おかあさん 妹を生んでくれてありがとう」

3ヶ月前、ぼくの妹が生まれた。

毎日、休みもなく  
おむつをかえるおかあさん  
母にゆうをあげるおかあさん  
妹とえ顔であそぶおかあさん

ぼくもこうやって育てて  
くれたんだなあ  
ありがとう、おかあさん  
今度は、ぼくがおかあさんを  
たすけるよ。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

清水有度第二小学校 4年 影山 道胡

「みいみのえがお」

みいみはぼくのひいおばあちゃん  
とっても元気な92さい  
いつもぼくの味方をしてくれる  
いつも大丈夫だよって言うってくれる  
いつもニコニコ笑ってくれる  
お母さんにおこられたときも  
妹とけんかしたときも  
みいみのえがおで元気になれる  
今度はぼくがみいみに  
元気をあげるね

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

清水江尻小学校 4年 大石 伊織

#### 「色んな気持ち」

お母さんへ

お母さんが作るおいしいごはんが、  
わたしの体を作ってくれる。

すごく大きくなったよ。

お母さんがだきしめてくれる  
うれしさが、わたしの心を作って  
くれる。わたしも愛してるよ。

お母さんがつかれていて、あまり  
話を聞いてくれない時はわたしを  
見てほしくて、わざと悪いことを  
しちゃう。ごめんなさい。

お母さんってすごいね。色んな  
気持ちをわたしに教えてくれる。  
わたしもお母さんに色んな気持ちを  
教えてるのかな？ そうだといいな。  
いつも、ありがとう。 伊織

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

安倍口小学校 6年 益岡 峻太郎

##### 「言葉の意味」

まただ  
また怒っている  
お母さんは怒ると話が長い  
同じことを何回もいう  
「わかってるよ」  
そんな言葉が頭の中にある  
同じことを何回もいうのは大切な  
ことだから  
だけどぼくは赤ちゃんじゃないから  
そんなにいわなくてもいい  
でも  
お母さんはいいつづける  
お母さんに聞いてみた  
「なんでそんなにいうの？」  
そしたらお母さんは  
「あんたが大切だからだよ」  
その意味は分からない  
けど  
いつか分かるだろう  
お母さんの言葉の意味を

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

伝馬町小学校 6年 亀田 楽人

##### 「大きいお父さん」

お父さんの声は大きい  
とても気持ちの良いあいさつをする  
お父さんの手は大きい  
手をつないで歩くと安心する  
お父さんの背中は大い  
ぼく達家族を守ってくれている  
お父さんのイビキは大い  
家族の為に毎日一生懸命働いて  
疲れているんだな  
お父さんのお腹は大い  
好き嫌いなく何でも食べる

ぼくもお父さんみたいに大きな  
大人になりたい



平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

西奈南学校 6年 新井 美月季

「やっぱりそばにいてほしい」

やっぱりそばがいい  
そばにいとどれくらい大切な  
ものか分からない  
はなれてみるとその大切さが  
はっきりと分かる  
でも、  
はなれるのはさみしい  
いつもそばにいてほしい  
一緒にいて笑っている父と母  
いつまでもそばにいてね

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

中田小学校 6年 櫻井 杏

「私のお母さん 一番」

私のお母さんなんでも一番

いねむりするの 一番  
私のゲーム取る速さ 一番  
大きな声でどなるの 一番  
こわい顔するの 一番

でもいい一番だっている  
料理のおいしさ 一番  
きらきら笑顔 一番  
家族へのやさしさ 一番  
笑わせるのだって 一番  
一番のお母さん

私もそんなお母さんになりたいなあ

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

大谷小学校 6年 相川 幸彩

##### 「笑顔であいさつ」

「おはよう、あんたはいい子だねえ。」  
朝登校する私にとなりの畑の  
おばあちゃんがかけてくれる言葉。  
一年前まで私のおばあちゃんが  
かけてくれた言葉と一緒に。でも、  
私のおばあちゃんはいない。  
今は遠いどこからか見守る星に  
なってしまったから。  
「おはよう、あんたはいい子だねえ。」  
今日もおばあちゃんの友達が  
声をかけてくれる。温かい気持ちに  
なる。元気になる。  
「おはよう、いってきます。」  
自然と笑顔があふれる。いつも  
ありがとう。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

西奈中学校 2年 萩原 美優

##### 「母と私」

宿題をやりなさい。  
うん。  
お風呂入って。  
分かっている。

いつも言ってくれる母と  
返事が短い私。  
悲しい顔をする母と  
すぐ部屋にもどる私。

ごめんね。そういう時期なんです。

仕事と家事をこなす母と  
素直になりたい私。

短くても伝えたい気持ち。

ありがとう。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

南中学校 2年 塩澤 竜也

##### 「朝の見送り」

うちの親  
毎朝外まで見送りに出てくる。  
僕が小学校に入学した時からずっと  
毎朝外まで見送りに出てくる。  
思春期の僕は少しはずかしい  
ううん、すごくはずかしい。  
友達に見られていたらどうしよう  
そう思うと門を曲がる時に  
あげる手も段々低くなった。  
「見送り」もうしなくていいよ  
子どもじゃないから。  
そういう僕にうちの親は  
あなたは何才になっても私の子ども。  
見送りは私の楽しみ。  
今日も元気に登校するあなたの姿は  
私の幸せ。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

城山中学校 2年 小柳 奈摘

「夕飯、な～に？」といつもの  
ように聞く私。  
「なにがいいかなあ～？」といつもの  
ように悩む母。  
毎日、毎日、変わらない会話。  
でも、部活が始まった。  
変わらない会話が、なくなった。  
はじめて気づいた。  
寂しいと思った。愛されてた。  
これからは増やしていこう。  
母との会話。  
前のような  
変わらない会話。変わらない時間。

「大切にしていきたいな。」  
と、はじめて思った。

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

清水第六中学校 2年 片瀬 千夏

「いつもありがとう」

「ただいま。」  
お父さんのその声を聞くのは私が  
2階にいて寝ようとしている時。  
いつも帰りが遅くて1日顔をみない  
こともある。  
「いってきます。」そんな声が  
聞こえてふと時計をみると朝の5時。  
「早すぎるよ。」そんなことを思い  
ながら私はもう一度眠りにつく。  
「お父さんが頑張らないといけない  
から。」そんなこと言っていていつも  
仕事してる。疲れてない？大丈夫？  
私はなかなか素直にそう言え  
ないけど、これだけは分かる。  
お父さんがいなかったら今の私は  
いないと思う。だから一言いわせてね。  
「本当にありがとう。そして  
これからもよろしくね。」

平成29年 「天使からのポエム」

受賞作品

#### 4. 佳作受賞作品

由比中学校 2年 松永 ころろ

##### 「私のひいばあば」

私が生まれた時からひいばあばは寝たきりで目も見えず、口がきけなかった。  
でも私がそばに行くといつもお話しようとしてくれたね。手を握ると握りかえしてくれたね。私が歌を歌うとなんだかひいばあばの顔が笑顔になったきがしたよ。私はそれがとてもうれしかったんだ。たくさんの思い出をありがとう。今私が、元気でやっていけるのはひいばあばが見守ってくれてるからなんだろうな。これからもずっと私のことを見ていてね。大好きだよ。